



木更津市

Kisarazu city official Site

千葉県木更津市中央1-5-18
 担当課: 市民部健康推進課
 〒292-0067
 ☎0438(23)1300 FAX0438(25)1350
<http://www.city.kisarazu.lg.jp/>
 Eメール: kensui@city.kisarazu.lg.jp

本市のデータ

(1)面積 138.73(平成19.7.6)

(2)人口 (人)

	35国調	12国調	17国調	22国調	H23年1月
人口(人)	52,689	122,768	122,234	129,291	128,818
世帯数	11,252	43,251	44,370	49,987	54,256

※高齢化率: 21.5%

(3)沿革

昭和17年: 木更津町、巖根村、清川村、波岡村が合併し、木更津市
 昭和29年: 鎌足村編入。昭和30年: 金田村、中郷村を編入。
 昭和46年: 富来田町と合併し、現在の市域となる。

(4)産業構造

産業別就業人口の総数は58,482人であり、全体の比率の中では第3次産業が7割近くを占めている。また、分類別で就業者数上位5位を挙げると、卸売・小売業10,083人(17.5%)、サービス業8,914人(15.4%)、医療・福祉4,580人(7.9%)、運輸業3,923人(6.8%)、飲食店・宿泊業3,363人(5.8%)の順に多くなっている。

<産業別充実者数>

	7国調	17国調
第1次産業	3,781人(6.0%)	2,677人(4.6%)
第2次産業	18,424人(29.1%)	14,599人(25.0%)
第3次産業	40,691(64.4%)	40,458人(69.1%)



東京から高速バス
 アクアラインで **1時間**

本市の概要

木更津市は東に万葉集にも登場する緑豊かな上総丘陵、西に東京湾を臨む歴史と文化にあふれるまちで、古くから港町として発展してきました。また、童謡「証城寺の狸ばやし」の舞台の地としても有名で、さまざまな狸の像が街角に置かれ、楽しませてくれます。

東京湾のたもとには、盤洲干潟が広がり、春から夏にかけて潮干狩りに訪れる観光客も多く、積雪はほとんどなく、コンディションが良い日には富士山を望むことができる暖かなまちです。

恵まれた気候を利用した漁業・農業も盛んに行われ、四季折々の海産物・農産物が充実して、近年は、東京湾アクアライン・館山道・圏央道などの高速道路網が次々と整備され、市内の東西南北にインターチェンジを持つ、極めて利便性の高い都市環境となっています。

これらを背景に、千葉県の千葉新産業三角構想の一角に位置づけられた「かずさアカデミアパーク」や東京湾アクアライン着岸地区への企業誘致などをはじめとした、安心して定住できる街づくりを進めています。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

木更津市の自殺者数は年間20数人～30数人で推移していたが、平成21年は42人で大幅に増加。平成22年は27人であった。35歳～64歳の働き盛りの男性の自殺者が多く、女性は65歳以上の高齢者が多い。自殺の原因は健康問題が多く、経済・生活問題、家庭問題の順になっている。

自殺対策の方針については、現在関係各課が検討しているところであるが、「心の健康について関心を持ち、またメンタルヘルスの基本的な知識を持つ市民を増やす。」こと、「困ったことや悩み事が発生したときにどこに相談にいけばよいのかを知っていて対処できる市民を増やす。」ことに関しては共通の認識を有している。

<具体的な取組み>

(1)総合的な取り組みの推進

- 平成22年11月 自殺対策庁内連絡会議
- 平成23年3月 第1回自殺対策庁内推進会議
- 7月 第2回自殺対策庁内推進会議
- 11月 第3回自殺対策庁内推進会議予定

(2)啓発活動

- 平成24年3月 自殺予防パンフレット(相談窓口一覧等掲載)作成、配布(広報折込)予定

(3)こころの健康対策 健康教育

- 平成21年度～ 市民を対象としたメンタルヘルス講座の実施

(4)人材育成

- 平成23年2月 相談窓口関係職員等を対象とした自殺対策に関する研修会の開催予定
講師:東京都中部精神保健福祉センター所長 益子茂氏